

わたしのきもち、ともだちのきもち 私の気持ち、友達の気持ち

1. 28~2. 7のとりくみ 5歳児

遊びの一場面の写真を見ながら、「この時、友達はどうな気持ちやったかな?」「私はこの時、こう思ったよ。」など、思ったこと、感じたことを言葉や『気持ちカード』で伝え合いました。自分と同じ気持ちであることに喜んだり、違うこともあるということに気づいた様子の子も達でした。

真剣な顔してるな。
ジャングルジムの
上やから怖いんち
やう?



笑ってるから、嬉しい
んかな?
「やったー」って思っ
てるかも

一緒に遊んでたのしか
ったから、「ほんわか」
のきもちやねん。



私は「すっきり」
いっぱい遊んだら頭
がすっきりするから

先に修理しな
いとあかんで



どんなホテル
やったら喜
ぶかな?

この壁が倒れ
ない方法を一緒
に考えよう



お客様が来る
から私はそう
じをするわ!

気持ちを考えたり、伝えたりする経験を重ねることで、遊びの中でも、少しずつ自分の思いを伝えたり、友達の思いに耳を傾けたりして、折り合いを付けながら遊ぶ姿が見られるようになってきました。『気持ちカード』を使って色々な感情があることを知らせると、言葉では表現しにくかった子どもも、カードを選んで思いを伝えようとしていました。ひとりひとりが自分の気持ちを表現したり、相手の話に耳を傾けたりしていくためには、保育者が子どもの心に寄り添いながら関わったり見守ったりすることが大切だと、改めて感じました。